

令和8年7月10日

市道猪長尾9号線（信楽町長野）道路復旧に向けた取組状況
～道路防災ドクターによる現地調査・診断～

市道猪長尾9号線（信楽町長野）において、7月7日に発生した土砂災害について、別紙のとおり、近畿地方整備局の道路防災ドクター制度を活用し、道路防災ドクターによる現地調査・診断を実施しましたので、その診断結果についてお知らせします。

甲賀市では、本日の診断結果を踏まえ、早急に対策を進めて参ります。

甲賀市役所 建設部 建設事業課
【担当】 三浦、樋口
TEL：(0748)69-2211（内線 2146）

道路防災ドクターによる現地調査・診断の結果

○今回の事象の原因について

宅地盛土カルテや開発時の資料等によると、被災箇所は、谷間を盛土して造成された長大な谷埋め盛土の末端部に位置している。現地状況から、造成後約50年が経過した盛土において、長期的な変形が進行していた可能性がある中で、6月下旬からの断続的な降雨に伴う表面水の滞留・浸透や周辺地盤からの地下水流入、盛土法尻側にある調整池の水位上昇等が重なり、盛土末端部の安定性が低下し崩壊したものと推定される。

○応急対策について

崩壊面、崩壊頭部及び周辺の開口亀裂部等をブルーシート等で重点的に被覆し、雨水の浸透を抑制すること。

また、道路側溝や宅地内排水、ブルーシート上の雨水等が崩壊箇所へ流入しないよう、仮設排水等により排水経路を確保すること。

あわせて、盛土法尻側にある調整池の水位、排水機能及び崩壊土砂の堆積状況を確認し、法尻部に滞水や水位上昇が生じないよう応急措置を行うこと。

○今後の調査・対策について

現地踏査によりクラックや段差、沈下、湧水等の分布を平面図上に整理し、クラック分布図を作成すること。

そのうえで、変位観測、ボーリング調査及び地下水位観測により、影響範囲及び崩壊メカニズムを確認し、避難情報の判断及び恒久的な復旧対策を検討すること。

今回の谷埋め盛土末端部での斜面崩壊により谷埋め盛土全体が不安定化し、いわゆる進行性破壊が生じる恐れがある。特に降雨時、降雨後の全体の挙動に留意すること。

なお、今回の診断結果については、7月8日の現地調査で得られた情報に基づくものであり、今後の調査等の新たな情報などによって診断結果が変更となる可能性があります。

※道路防災ドクターとは

災害等により損傷した施設等の調査・復旧方法や道路施設の機能保全に必要な対策および管理計画等に関する指導や助言を頂く高度な技術や専門知識を有する学識経験者

https://www.kkr.mlit.go.jp/road/maintenance/kyouryou_dourobousai.html

【現地調査の状況】

